



田沢湖・鳥海山を望む（仙北市）

秋田更生保護

第60号

発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援助協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

平成26年7月1日現在
保護司数 651名

目 次

巻頭言……………	1	秋田保護観察所……………	4
更生保護関係団体の動き		サポートセンターだより……………	5
秋田県更生保護援助協会……………	2	速報 第64回“社会を明るくする運動”写真集……………	6
秋田県保護司会連合会……………	3	秋田保護観察所人事異動……………	7
秋田県更生保護女性連盟……………	3	栄誉に輝く叙勲・褒章……………	8
秋田県BBS連盟……………	4	保護司の異動……………	8
秋田至仁会……………	4	編集後記……………	8
秋田県就労支援事業者機構……………	4		

秋田の更生保護に係わっていただいています皆様には、平素より更生保護活動に格別のご尽力をさせていただきますこと、深甚の敬意を表します。

近年、再犯者が占める割合が一貫して上昇していることから、再犯防止への取組が政府全体の喫緊の課題となったことを受けて、昨年六月、刑法等の一部を改正する法律等が公布され、特別遵守事項による社会貢献活動の実施と刑の一部執行猶予制度の導入が決まりましたが、これらの新たな施策への取組に当たっては、更生保護関係者の総力を結集して、再犯防止、社会復帰に資するためにはどうあるべきかを考え、協力することが不可欠です。

ところで、最近の犯罪情勢についてある研修会でお聞きしたところ、一般刑法犯の認知件数は、平成十四年の約三六九万件がピークで、平成二十四年は約二〇二万件まで減少しているとのことでした。殺人事件の認知件数は、昭和二十年代後半の約三千件がピークで、平成二十四年は千三十件と戦後最少となり、うち半分は親族間で起きているとのことでした。刑務所在所者については、昭和三十一年以降のピークは平成十八年の約八万一千人でしたが、平成



再犯防止と社会復帰に資するために

秋田県保護司会連合会

会長 宮 原 文 彌

二十四年には約六万七千人に減少し、刑務所入所者については、平成二十四年が約二万五千人で、出所者は約二万八千人、出所者のうち仮釈放者が約一万五千人、満期釈放者が約一万三千人とのことでした。また、平成二十年の出所者の五年以内での刑務所への再入率は、仮釈放者が約三〇%、満期釈放者は約五〇%ということでした。刑務所出所者の再犯防止が最重要課題の所以です。

若者文化を特集した平成二十六年三月号の「更生保護」誌に、「ワンチャン(ワンチャンスあるぞの意)」という論説がありました。読んでいるうちに、以前のNHK特集で、特殊詐欺(いわゆるオレオレ詐欺)の犯罪集団の実態報道があったのを思い出しました。オフィスビルの一室にいる数十人の若者が、ノルマを競って詐欺を実行する訳ですが、かなりの金額を入手できることに加え、まるでサラリーマンのように「仕事感覚」でできるからやっている、という利他的会話が印象に残っています。社会の規範や道徳に反したことを罪と感じない感覚。改めて社会復帰に資するためにはどうあるべきかを考えてしまいます。

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

★新理事の紹介

(平成 26 年 6 月 1 日付)
大内 睦子 (菓子製造業・販売)

寄附者の御芳名

平成二十六年一月以降にご寄附を
寄せられた方は、次のとおりとなつて
おります。

厚く御礼申し上げます。

一金 三十万円

岩館 祖芳 様 小畑 悟 様

秋田銀行 様

一金 二十万円

村山 儀孝 様 沢木 則明 様
細谷 重直 様 小熊 良悦 様
田口 昭一 様 村岡 兼幸 様
布谷 博 様 齊藤 満 様
加賀谷文秋 様 櫻田 元宏 様
大内 睦子 様 辻 良之 様

一金 十万円

八島 國雄 様 大内 省三 様
大内 淳子 様 (有)千秋資材 様

平成二十六年度事業計画書

I 運営に関する事項

(1) 秋田県内における更生保護活
動を広く社会に周知し、犯罪や
非行のない明るい社会を築くた
め、関係機関・団体との連携を
基に連絡助成事業を展開すると
ともに、保護観察対象者等の自
立支援のため、一時保護事業の

II 事業に関する事項

(1) 1 連絡助成事業
保護司活動に対する助成

ア 秋田県保護司会連合会及び
各地区保護司会の事業に対し
て助成を行う。

イ 保護司研修及び連絡協議会
に対して助成を行う。

ウ 更生保護サポートセンタ
ーの事業に対して助成を行う。

(2) 継続保護事業に対する助成
更生保護法人秋田至仁会の事業
に対して助成を行う。

(3) 協力組織に対する助成
ア 更生保護女性会関係
秋田県更生保護女性連盟及び
各地区更生保護女性会の事
業に対して助成を行う。

イ BBS 会関係
秋田県 BBS 連盟及び地区 B
BS 会の事業に対して助成を
行う。

ウ 協力雇用主関係
特定非営利活動法人秋田県就
労支援事業者機構をはじめと
する就労支援事業に対して助
成を行う。

エ 更生保護法人全国更生保護
法人連盟に対する協力。

犯罪予防活動に対する協力

平成 25 年度一般会計収支決算書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

収 入 総 額 8,310,086 円
支 出 総 額 7,202,283 円
差 引 1,107,803 円

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
補助金等収入	650,000	568,000	82,000
助成金収入	650,000	568,000	82,000
寄附金収入	4,251,000	4,290,000	△ 39,000
篤志者寄附金	1,250,000	1,290,000	△ 40,000
役員等寄附金	3,000,000	3,000,000	0
その他の寄附金	1,000	0	1,000
財産収入	140,000	649,886	△ 509,886
利息及び配当収入	140,000	649,886	△ 509,886
会費収入	3,010,000	2,762,000	248,000
特別会計繰入金収入			0
雑収入	29,000	40,200	△ 11,200
(収 入 合 計)	8,080,000	8,310,086	△ 230,086

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
一時保護事業費	918,420	770,249	148,171
事務費	118,420	118,249	171
給料手当	94,320	94,320	0
退職給与	5,000	5,000	0
福利厚生費	500	489	11
旅費交通費	3,000	3,352	△ 352
通信運搬費	9,500	11,245	△ 1,745
消耗品費	1,500	1,575	△ 75
備品補修費	100	0	100
印刷製本費	2,000	0	2,000
雑費	2,500	2,268	232
金品給与費	800,000	652,000	148,000
連絡助成事業費	6,615,860	5,971,532	644,328
事務費	951,860	948,260	3,600
給料手当	754,560	754,560	0
退職給与	40,000	40,000	0
福利厚生費	4,000	3,912	88
旅費交通費	24,000	26,814	△ 2,814

通信運搬費	76,000	89,956	△ 13,956
消耗品費	12,000	12,602	△ 602
備品補修費	800	0	800
印刷製本費	18,000	0	18,000
雑費	22,500	20,416	2,084
啓発費	460,000	543,500	△ 83,500
連絡調整費	909,000	848,772	60,228
継続保護事業連絡調整費	10,000	0	10,000
一時保護事業連絡調整費	10,000	0	10,000
連絡助成事業連絡調整費	100,000	99,554	446
保護司活動連絡調整費	60,000	64,366	△ 4,366
更生保護女性会活動連絡調整費	60,000	55,602	4,398
BBS 活動連絡調整費	20,000	14,250	5,750
機関紙 (誌) 発行費	315,000	315,000	0
大会費	300,000	300,000	0
報償費	20,000	0	20,000
調査研究費	1,000	0	1,000
その他の連絡調整費	13,000	0	13,000
助成費	4,295,000	3,631,000	664,000
継続保護事業助成費	500,000	500,000	0
保護司活動助成費	3,540,000	2,928,000	612,000
更生保護女性会活動助成費	200,000	153,000	47,000
BBS 活動助成費	50,000	50,000	0
その他の助成費	5,000	0	5,000
管理費	524,920	460,502	64,418
給料手当	94,320	94,320	0
退職給与	5,000	5,000	0
福利厚生費	500	489	11
会議費	200,000	203,826	△ 3,826
交際費	60,000	0	60,000
旅費交通費	3,000	3,352	△ 352
通信運搬費	9,500	11,245	△ 1,745
消耗品費	1,500	1,575	△ 75
備品補修費	100	0	100
印刷製本費	10,000	0	10,000
租税公課	1,000	0	1,000
雑費	140,000	140,695	△ 695
子備費	20,800	0	20,800
特別会計繰入金支出			0
(支 出 合 計)	8,080,000	7,202,283	877,717

- 第六十四回「社会を明るくする運動」を中心とした犯罪予防活動に参画するとともに関連行事等に対して助成を行う。
- イ 更生保護誌を購入し、関係機関・団体に配布する。
- イ 機関紙、パンフレットの発行
- ア 機関紙「秋田更生保護」を年二回発行し、保護司及び関係機関・団体等に配布する。
- イ 当協会独自にパンフレットを作成し、事業の推進に活用する。
- (6) 秋田県更生保護大会の開催
第四十七回秋田県更生保護大会を共催する。
- 2 一時保護事業
更生保護事業法第二条第二項に規定される者の更生を促進するため、必要に応じ金品を給与又は貸与し、適切な一時保護事業を行う。特に就労支援に関しては身元保証の積極的な活用を図るものとする。
- 3 その他の事業
更生保護関係機関・団体の連絡協調を支援する。
- (2) 役員研修会を開催し、役員の見識の向上及び相互の親睦を図るとともに事務局体制の強化を図る。
- (3) 顕彰及び慶弔
ア 本事業の進展に功績のあった個人及び団体に対して顕彰を行う。
- イ 民間協力者に対する顕彰及び更生保護事業功労による被顕彰者に対して記念品を贈呈する。
- ウ 更生保護協力者が保護観察対象者等から被害を受けたときは見舞金を支給する。

秋田県保護司会連合会

お知らせ

会費減額について

平成二十六年年度の保護司関係の府予算において、保護司会連合会の組織運営等の事務を担う企画調整保護司の配置が認められました。これは、保護司の経済的負担軽減、連合会の機能強化、保護司会運営の支援強化のために新たに認められた企画調整保護司として県保連の事務に当たる保護司に対して実費弁償金が支給されることになりました。

それに伴い、全国保護司連盟会費が千二百円から千円に減額され、県保連地区負担金は廃止することとなりました。

平成二十六年年度事業計画書（抄）

1 基本計画

当会は秋田保護観察所及び各地区保護司会並びに更生保護団体等と緊密な連携を保ち、保護観察の充実強化と保護司の安定確保に努めるとともに、各自自治体との連携・協力関係を今まで以上に密にして、地域社会における犯罪予防活動の推進に万全を期し、もって更生保護の進展に努める。

2 重点目標

- (1) 秋田県をはじめ、各自自治体と

- 連携し、保護司活動を理解してもらう。
- (2) 更生保護関係機関・団体等とネットワークの構築に取り組み。
- (3) 刑の一部執行猶予制度に向けた処遇体制の強化を図るとともに、社会貢献活動の義務化に対応して活動場所をさらに開拓し、活動内容の充実を図る。
- (4) 第六十四回「社会を明るくする運動」モデル地区として北秋田・潟上湖東・横手地区保護司会を指定し、事業への参加を積極的に行う。
- (5) 保護司候補者検討協議会及び「更生保護サポートセンター」の設置・円滑な運営を図るため地区保護司会との連携を強化する。
- (6) 秋田県就労支援事業者機構の就労支援事業に協力し、同事業の推進を支援する。
- (7) 新設される連合会保護司を適切に配置し、事務処理体制の一層の充実を図る。

秋田県更生保護女性連盟

会員数 平成二十六年五月一日現在
二十五地区 一、九二〇名

★秋田県更生保護女性連盟 総会

五月九日、秋田ビューホテルにて秋田保護観察所・杉山勝彦所長、藤原淳哉保護観察官、秋田県保護司会連合会・加藤忠輔副会長を御来賓として、各地区会員一二八名の参加で総会が開催されました。会歌「陽ざしの中で」を一同斉唱のあと、杉山所長をはじめ御来賓の方達よりご挨拶をいただき、会が始まりました。

- ①平成二十五年年度事業結果報告、②平成二十五年年度収支決算報告並びに

会計監査報告、③平成二十六年年度事業計画（案）、④平成二十六年年度収支予算（案）が熱心な討議のもと承認され、平成二十六年年度の各事業が、スタートしました。

午後からは、宮城県石巻地区更生保護女性会加藤登美子会長の「東日本大震災を体験して」と題する講演を拝聴、関連したビデオを見て三年前の大きな震災に涙して思いを新たに致しました。

★第五十一回「日本更生保護女性の集い」

六月十日、東京・有楽町朝日ホールにおいて、全国より四百名の会員が集い、開催されました。

・法務大臣感謝状

藤里 菅原 優子
・日本更生保護女性連盟会長表彰
由利本莊 杉 渕 ヒデコ

秋 田 鎌 田 通 子
秋 田 佐々木 ヒサ子

（お知らせ）

平成二十六年六月十日付け、日本更生保護女性連盟狩野安全会長の退任に伴い、千葉景子新会長が就任されました。

また、平成二十六年四月十七日付け、東北地方更生保護女性連盟神和子会長の退任に伴い、太田宥子新会長が就任されました。太田新会長は、併せて日本更生保護女性連盟常務委員に就任されました。

★今後の主な行事は次のとおりです。

- ◎東北地方更生保護女性会員研修会
九月十七日～十八日 青森
- ◎日本更生保護女性会員中央研修
十月二十八日～三十日 東京
- ◎秋田県更生保護女性会員研修会
十一月初旬 秋田

秋田県BBS連盟

★東北地方BBS連盟理事会

四月十二日、仙台市で開催。

★日本BBS連盟協議会

五月二十四日から二十五日にわたり、国立オリンピック記念青少年センターで開催され、菅原会長が出席。今年度の事業計画、予算等のほか日B連の法人化について協議されました。なお、日B連はNPO法人化されるものの、構成団体である地方連盟、都道府県連盟、地区会は従来の組織形態を維持し、自由な活動を続ける方針であることが確認されました。

★秋田県BBS連盟総会

六月七日、ユースパルで開催。県連の活動の中心が学生会員であることから、学生の経済的負担を軽減する方向性を確認し、重点的な予算配分としました。

★東北地方BBS大会

六月二十一日から二十二日にわたり、宮城県松島町で開催され、十二名が出席。各県連の特色ある活動紹介のほか、時代に合ったBBS活動について意見交換を行いました。式典では、顕著な活動が認められた団体・個人へ東北地方更生保護委員会委員長感謝状、東北地方BBS連盟会長表彰が贈呈・授与され、秋田地区BBS会（団体表彰）ほか2会員（個人）が顕彰されました。また、来年度の開催地を秋田県とすることが決定されました。

★「ハング・ルース」青年教室の通年開催

秋田地区BBS会が中心となり、

障がいのある青少年と地域行事やレクリエーションなどの余暇活動を楽しむ交流を通年で行っています。五月はユースパル周りの清掃活動、六月にはハーブワールドへの旅行を行いました。

秋田至仁会

施設職員一年生として

補導員 竹中 洋平

本年三月一日付けで、補導員として採用になりました。

更生保護に関しては、BBS会員として若干の関わりしかありませんでしたので不安でしたが、やりがいのある仕事と思いを希望しました。

いざ就職してみますと、外から観える様子とは大違いであり、現実の処遇が如何に厳しく困難なものなのか身にしみて感じています。二十名以上の被保護者に対して職員一名が四日に一度の宿直勤務、一日二十四時間、一年三百六十五日、個別に向きあった処遇の現実には理屈・理論を超えた、適切な判断が必要であり、如何に経験が必要であるか実感しているところです。

加えて、更生保護事業に対する委託費等の予算が非常に厳しいと言われる中、処遇と施設の維持・運営について、全職員が不安を抱えながらも全力で取り組んでいることを知りました。

私は、更生保護施設についてまだまだ勉強不足ですが、施設長ほか先輩職員から多くを学び、よりよい更生保護施設とすべく頑張っ参りたいと思っています。どうか皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

秋田県就労支援事業者機構

平素から、当機構の活動に対しご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

本年五月二十七日、ふきみ会館において平成二十六年通常総会を開催し、平成二十五年事業報告及び収支決算等について審議した結果、いずれも満場一致で可決・承認され、また、平成二十六年事業計画及び収支予算等について出席者へ報告いたしました。

昨年度は、保護観察対象者等への就労機会の提供、トライアル雇用を行った事業主への助成とともに、協力雇用主数の増加など当機構の事業をさらに推進することができましたが、これも皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

本年度も引き続き保護観察対象者等の就労確保に向けた支援を推進し進めるとともに、機構会員を対象とした刑務所見学研修を計画するなど、事業の活性化を図ってまいります。

また、本年度から秋田市において取り入れられた、協力雇用主に対する優遇措置と同様のものを、秋田県でも取り入れてもらえるよう働き掛け、協力雇用主という重要な地域貢献のさらなる周知も行つて参ります。

今後とも保護観察対象者等の雇用に協力をいただける協力雇用主の開拓に努めるとともに、少しでも雇用していただきやすい環境整備を行っていききたいと考えますので、引き続きご理解やご支援をお願い申し上げます。

秋田保護観察所

「犯罪被害者等施策」について

更生保護における犯罪被害者施策は、次の四つを柱としています。

① 意見等聴取制度（仮釈放等の審理を行っている地方更生保護委員会が被害者の意見をお聴きするもの）

② 心情等伝達制度（保護観察所が被害者の申出に基づき、その心情等をお聴きし、これを保護観察中の加害者に伝達するもの）

③ 被害者等通知制度（加害者の処遇状況等を被害者に通知するもの）

④ 相談・支援（犯罪被害者等からの相談等を受け、悩みや不安等を傾聴したり、関係機関の紹介などを行うもの）。

これら四施策に加えて昨年四月、被害弁償等に関する法的支援にかかわる制度が導入されました。これは、保護観察対象者が被害弁償を実行するに当たり、法テラスが実施する次に掲げる法的支援を受けることができるというものです。

① 情報提供（無料）

利用者の抱える法的トラブルの内容に適した相談窓口を紹介するほか、利用者の同意を得て紹介先へ電話をする等して取り次いだり、紹介先が予約制の場合は、利用者に代わって予約をとるなどします。

② 民事法律扶助

ア 弁護士による法律相談援助
無料。ただし一回三〇分程度、三回まで、弁護士が相談に応じます。

イ 代理援助

法テラスが弁護士等を選任し、その弁護士等の費用を立て替えます(要費用償還。一定の場合免除あり)。

書類作成援助

弁護士等を選任の上、司法書士又は弁護士が、裁判所に提出する書類を作成する費用を立て替えます(要費用償還。一定の場合免除あり)。

この制度は保護観察対象者が一定の要件を満たす場合に利用可能等要件がありますので、保護観察所に御相談ください。

被害者施策の適正な運用を図ることにより、被害者等の権利利益の保護に努めるとともに、保護観察対象者に対しては被害者の視点を取り入れることにより、真の更生が果たせるよう処遇の充実を図ってまいりたいと思います。

サポートセンターだより

①秋田地区

センター長 柳沢 和子

秋田更生保護サポートセンターは本年四月一日(秋田市蛭根八五―九)秋田市道路維持課三階の一室に移転しました。

二方向が全面窓で何よりも明るい環境のもとに日々各地区会の理事会、地域処遇会議、保護司同士の情報交換、面接等に活用されています。また、配置された七人の企画調整保護司が、保護司の処遇活動の支援充実と地域に根ざした犯罪・非行防止活動のより一層の推進を目指して体制づくりを頑張っています。どうぞご利用下さい。

②横手地区

センター長 高橋 勝己

横手更生保護サポートセンターが開設され、定期駐在、対象者面接、交通短期講習、新任保護司指導、三役会議、企画調整会議、各種部会、更生保護女性会との情報交換会等が行われております。

平成二十六年七月には、秋田更生保護サポートセンターの企画調整保護司の来所、交流会の計画もあり、サポートセンター設置計画のある保護司会からの問い合わせもあり、配置されている企画調整保護司が対応しています。

当サポートセンターは公共施設の中にあり、土・日曜日は閉館の為、使用できませんが、祭日は使用可能ですので、対象者や生活環境調整の引受人との面接等で、自宅に代わる面接場所として活用しております。

サポセン開設

③大館地区 (平成26年4月1日開設)

〒〇一七〇八九七 大館市三ノ丸一三一九
大館市役所三ノ丸庁舎
TEL・FAX 〇一八六四二二四二二〇

センター長 渡辺三千平

「更生保護サポートセンター」の開設にあたって

当会の更生保護活動推進について、平素御協力を賜りありがとうございます。この度、秋田保護観察所の御指導及び大館市の御指導・御協力により、本年四月一日「更生保護サポートセンター」を開設しました。大館市の観光名所の秋田犬会館の隣に

なります。

今年二月、三月に秋田保護観察所と協議し、三月十八日には法務省で開催されました同センター関係の会議にも参加させて頂きました。開設にあたり、電話を取り付け、コピー機、机、いす等準備しました。企画調整保護司九名の辞令交付も行いました。平成二十六年年度の定期総会で保護司全員で開設を喜び合いました。開設以降毎日、企画調整保護司や地区保護司が来所し、センター内の配置や更生保護活動について意見交換しています。



研修部会を二回開催し、七月三日には、大館市の弁護士に講師を依頼し、自主研修会として更生保護に関する講演会も開催しました。これからは、秋田保護観察所の定期駐在も実施することになっています。他の専門部会も開催予定です。近くには、大館の観光名所石田ロイズガーデンがあります。近くにおいでの際は是非お寄り下さい。

④鹿角地区 (平成26年6月1日開設)

〒〇一七〇八九七 鹿角市花輪字荒田四一
鹿角市山村開発センター内
TEL 〇一八六一二五―八七二六
FAX 〇一八六一二五―八七二八
Email:hogo@ink.or.jp

センター長 島山 裕

今年二月、三月に秋田保護観察所と協議し、三月十八日には法務省で開催されました同センター関係の会議にも参加させて頂きました。開設にあたり、電話を取り付け、コピー機、机、いす等準備しました。企画調整保護司九名の辞令交付も行いました。平成二十六年年度の定期総会で保護司全員で開設を喜び合いました。開設以降毎日、企画調整保護司や地区保護司が来所し、センター内の配置や更生保護活動について意見交換しています。

『サポートセンター』開設!

県下四番目

となる「更生保護サポートセンター」(鹿角サポセン)の開所式が、関係機関の協力を得て、六月二日に行われました。

二十二名の保護司に杉山所長から企画調整保護司の委嘱辞令が交付され、戸館会長が代表して決意表明をしました。



鹿角サポセンの場所は、市役所に隣接した山村開発センター内の一室。部屋は事務机二つとロッカーを置く程度で、やや狭い感じを受けますが、面接や面談に支障はありません。申請によって借用できる大きな部屋もありますので、研修や会議が開催できる等の利便性が高いところです。

開設からひと月、運営については右往左往の段階ですが、関係機関担当者やフェイストゥフェイスで話ができ、意志疎通がより緊密に行われています。また、サポセンを中心に更生保護に対する関心が高まり、更生保護関係者の交流拠点として、より絆が深まるものと期待しています。



秋田駅広報 (7/1)



セレモニー開始



秋田市長から社明グッズ配布



速報 第64回

“社会を明るくする運動”

写真集

秋田矯正展 (7/6)



晴天に恵まれバザー会場には人・人・人



社明ハチマキをつけた
スギッチは今年も大人気

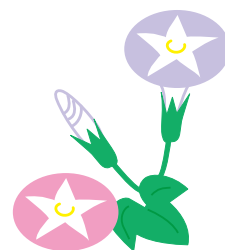
イベント等



中学校への訪問 (7/1)
(潟上湖東地区 飯田川ブロック)



かまくら館玄関前に飾られた看板 (7/1)
(横手地区)



これから広報活動開始です (7/1)
(潟上湖東地区 昭和ブロック)



横手市長へメッセージ
伝達 (7/1)
(横手地区)



平鹿町のあやめ公園で
啓発活動 (7/5)
(横手地区)



秋田保護観察所人事異動

転 出

五十嵐 達（企画調整課長）
 （青森観・企画調整課長）
 金森 直子（保護観察官）
 （盛岡観・保護観察官）
 馬場 英紀（保護観察官）
 （青森観・保護観察官）
 嶋貫 直人（会計係長）
 （東北委・会計係長）
 佐藤 祐太（庶務係）
 （東北委・会計係）

転 入（平成26年4月1日付）

佐々木俊樹（横浜観 統括保護観察官）
 企画調整課長
 藤井正人（青森観 保護観察官）
 保護観察官
 柿崎 敦（盛岡観 保護観察官）
 保護観察官
 梶原淳一朗（東北委 会計係）
 会計係長
 佐藤 美奈（新規採用）
 庶務係

転入者のあいさつ



企画調整課長
 佐々木 俊樹

本年四月、人事異動により、横浜保護観察所から転任してまいりました。私は、昭和六十二年の採用で、秋田は私の初任地でした。当時幾分の知識も経験もない私を更生保護関係

団体の皆様は優しく見守り育ててくださり、大変お世話になったことを今でもよく覚えております。街並みは随分変わりましたが、当時の面影は幾分か残っており、非常に懐かしう、この度は胸が躍る思いで着任いたしました。

これまでは比較的都会での勤務が多かった私にとつては、田沢湖や白山山地をはじめとする風光明媚な自然や、竿燈、花火、温泉等の風物詩もこの機会に満喫させていただきたいと思っております、楽しみにしております。

企画調整課長は身に余る重責でございますが、初心に返り、思いを新たに、一杯努めて参りたいと存じますので、なにとぞ御指導御叱咤のほど、よろしくお願い申し上げます。



保護観察官
 藤井 正人

本年四月の人事異動により青森保護観察所から転任してまいりました。秋田保護観察所での勤務は初めてとなりますが、もとより秋田の出身であり、久し振りに地元に戻ってこられたことに感慨もひとしおです。

私は、平成二十年三月まで農水省の地方出先機関に勤務しておりましたが、省庁間配転により、同年四月に更生保護官署に配属となり、関東や青森の官署を経て、今般、地元秋田でお世話になることになりました。年齢的には五十代の半ばを超えましたが、保護観察官としての経験年

数は六年余りと浅く、まだまだ未熟者です。何かと至らぬ私ですが、秋田の更生保護のため、微力ながら一杯努力する所存ですので、御指導御鞭撻の程よろしくお願いいたします。



保護観察官
 柿崎 敦

本年四月の人事異動により盛岡保護観察所から転任してまいりました。

私は、平成二十二年四月に秋田農政事務所から配置転換で、更生保護の世界にきました。保護観察官になつて四年目ですので、まだまだ分からない事も多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。又、秋田県は地元ということもあり、通勤時間は少々かかりますが、湯沢市から電車で通っています。

微力ではございますが、秋田の更生保護のために努力して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



会計係長
 梶原 淳一朗

本年四月の人事異動により、東北地方更生保護委員会から転任してまいりました。

私は委員会での勤務経験がなく、保護観察所における勤務はこれが初めてとなります。委員会と観察所の違いで戸惑うことも多いですが、委

員会では数字上でしか把握できなかったことを実際に見聞きする機会が増え、更生保護に携わっている方々の熱意を実感して気持ち新たに業務にまい進する所存です。

出身は秋田ですので、慣れ親しんだ地元での業務となりますが、至らぬ点も多々あるため努力してまいりたいと思ひます。御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



庶務係
 佐藤 美奈

本年、四月一日付け新規採用として、秋田保護観察所に着任いたしました。

着任してから早いもので三か月が過ぎました。山形出身ということもあり、風土や気候の違いに戸惑うこともなく順調に生活を送ることができています。

この度、かねてからの夢であった更生保護に携わることが叶い、とても嬉しく思っています。何をするにも初めてのことはばかりで失敗も多いですが、周りの方々に支えられてなんとか仕事ができそうです。

高校、大学では弓道をやっておりました。機会があれば秋田の弓会に入つて弓を引きたいと考えておりますので、もし弓を引いている方がいらつしやいましたらお誘いいただけると嬉しいですね。

何かとご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導よろしくお願いいたします。

栄誉に輝く
叙勲・褒章

春の叙勲・褒章

(平成26年4月29日)

平成二十六年年度春の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。
永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。
(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



稲毛 通明
(大曲地区保護司)

藍綬褒章

(更生保護功績)



見上 裕子
(秋田(東)地区保護司)

叙位

従六位 (平成二十六年四月八日)

小番 秀顕 (元本荘地区保護司)

遺族追賞

(平成二十六年三月二十九日)

堀 友子 (元本荘地区保護司)

保護司の異動

平成二十六年一月以降次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を御祈念いたします。
(敬称略)

依願解嘱

(平成26年3月31日)

梶原 弥生 (秋田(中央))
木村 憲一 (横 手)
鈴木 浩子 (横 手)

任期満了

(平成26年6月30日)

熊谷 勝 (秋田(東))
澤口 秩子 (秋田(中央))
目黒 勲 (秋田(臨港))
渡邊 欽也 (潟上湖東)
鎌田 豊 (潟上湖東)
菅原 慶悦 (潟上湖東)
大山 陽子 (能 代)
鳥潟 蓮子 (大 館)
岩谷 満夫 (大 館)
宮越 禎子 (大 館)
白澤 良明 (鹿 角)
伊藤 勇 (鹿 角)
庄司利恵子 (本 荘)
有馬 賢一 (本 荘)
中田 正晃 (本 荘)
村上 伸男 (横 手)
高橋 登 (横 手)
木村けい子 (横 手)
小笠原スミ子 (大 曲)

新 任 (平成26年7月1日付)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後の御活躍に期待します。
(敬称略)

秋田保護区

神原真紀子 (東) 石川ひとみ (中央)
佐藤 輝代 (中央) 渡辺 正宏 (中央)
森 洋 (中央) 竹中 洋平 (臨港)

男鹿保護区

木元 義博

潟上湖東保護区

芳賀 勇 菅原 一

能代保護区

工藤 昭子 水野 京子

大館保護区

鈴木 泰賢 花田 仁志

鹿角保護区

伊藤さより 小田久美子

本荘保護区

鈴木 敬子 小林トミ子

横手保護区

伊藤志津子 石山 寛

大曲保護区

小島ひとみ 遠藤 孝雄

大曲保護区

大山優美子 高橋 淳一

おくやみ

三浦 一英 (北秋田)

堀 友子 (本荘) 平成26年1月14日 (享年62歳)

成田 弘咲 (男鹿) 平成26年1月25日 (享年65歳)

秋元 宗武 (北秋田) 平成26年3月22日 (享年65歳)

福岡 利克 (秋田(東)) 平成26年4月15日 (享年70歳)

國安 教善 (援護協会副理事長) 平成26年4月15日 (享年76歳)

平成26年5月8日 (享年65歳)

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
千秋公園のお堀に咲きほころんで見えます蓮の姿から維摩経でありましたでしょうか。「高原陸地には蓮華生ぜず、卑湿汚泥に今してこの花を生ず」との文言があります。
高い乾ききった所には蓮の花は育たない。腰までつかるような泥田の中でその花を生ずる。色々と悩み、苦しみ、辛酸を舐めながらそこでもって行を積むことが、やがて立派な蓮華の花がさくように、人間我々も弛みなく休むことなく佛祖方々の教えに従って精進を続けねば必ず、當分の佛になれるかと。
櫻田元宏

編集委員

櫻田 元宏 加賀谷文秋
新野 建臣 伊藤 昭子
北林 暢子 佐々木俊樹
菊地 皆美

